

広報 よなぐに



2015
No.84



<http://www.town.yonaguni.okinawa.jp/>



- 与那国島のできごと 2
- お知らせ 4
- コラム／寄附・寄贈 11
- 時代 12

広報よなぐには町のホームページで閲覧できます

与那国町

検索

〒907-1801 沖縄県八重山郡与那国町字与那国129番地 発行責任:与那国町役場総務財政課

Tel. 0980-87-2241 Fax. 0980-87-2079

1981年(昭和56年)第1号発行

祖納青年会エイサー

与那国町人口動態
平成27年8月末
世帯数：779 世帯
総人口：1,484人
男：767人
女：717人

まちのできごと

保育所☆夕涼み会



保育所夕涼み会が久部良保育所は7月11日(土)に、祖納保育所は7月18日(土)にそれぞれ行われました。子どもたちは、色とりどりの浴衣や甚平姿でミニステージに登場し、お気に入りの歌を披露しました。会場には恒例の保護者による手作りちょうちんが飾られ、子どもたちは自分のちょうちんを探し、指をさしながら嬉しそうに見上げていました。



観光の日



与那国町観光協会と同町役場は、観光の日である8月1日、与那国空港にて、来島した観光客ら一人一人に対し、島の特産品であるクバ餅とステッカー、パンフレットを贈り歓迎しました。飛行機を降り、思わぬプレゼントを受け取った観光客からは、驚きとともに喜びの声を聞くことができました。

どなんプレミアム付商品券完売

8月3日(月)に構造改善センターにおいて、販売開始セレモニーが行われました。プレミアム付商品券は、消費喚起を目的に国の交付金によりおこなわれる事業。

与那国町では、販売開始直後から好調な売れ行きを見せた「どなんプレミアム付商品券」は、8月21日(金)に用意していた1500冊全て、完売しました。



国勢調査員に任命辞令交付

国勢調査のスタートに先立ち、8月24日(月)国勢調査員14名に外間守吉町長から任命辞令が授与されました。国勢調査員は、町長の推薦に基づき、総務大臣が任命する非常勤の国家公務員です。国勢調査は5年に1度、9月上旬から10月初旬にかけて全国一斉に行われ、今回で20回目。今回は紙の調査票だけでなく、パソコンやスマートフォンからインターネット回答ができるようになりました。国勢調査の結果は、社会福祉・雇用対策・生活環境整備等の基礎データとして活用されます。皆さまのご協力よろしくお願いいたします。



- 指導員：** 田頭 恵子さん 和泉 君枝さん
調査員： 大宜見 純子さん 慶田元 啓子さん 前底 かつるさん
 西新田 幸子さん 萱野 浩美さん 栄 光子さん
 菊池 晃志さん 古見 美智子さん 柿本 あゆみさん



ドイツの民族学博物館に 与那国島の民具が！！

8月25日(火)、与那国町複合型公共施設にて与那国町教育委員会主催の文化講演会「与那国、もうひとつの交易拠点：ハンブルク市立民族学博物館の所蔵資料を手掛かりに」が開催されました。講師は、明治大学農学部でドイツ研究・日独交流史を専門とする辻朋季氏。講演では、昨年、ドイツのハンブルク民族学博物館にて発見した53点におよぶ与那国島の民具や装飾品の目録と、それがなぜドイツへ渡ったのかについて、解説が行われました。

辻氏によれば、これらの民具は、1907年(明治40年)には同博物館に収蔵されており、与那国島で集められたものであることが資料から確認できるそうです。博物館から辻氏が持ち帰った収蔵品のスケッチが紹介され、講演に参加した人々はウブルやタマなどの絵に見入っていました。現在、同博物館では収蔵品の整理を進めており、2017年頃には与那国の収蔵品も一般公開が可能となる予定です。



よなくにあるある その1

オードフルを見たら、まずひとことめが、「どこのかあ〜」と確認する・

与那国町自治公民館連絡協議会だより

旧暦6月、今年も各集落で豊年祭が執り行われました。与那国町自治公民館連絡協議会は年間40余りもの祭事を執り行いますが、なかでもウガンフトゥティ(豊年祭)は、1年間続いた祈願を解き、神様に感謝する大切な日です。

8月8日の日取りで行われる予定だった相納の豊年祭は、台風13号の接近に伴い、8月11日に延期となりました。2年に1度の大綱引きや恒例のおみこしパレードや奉納舞踊は中止し、神事のみが執り行われました。

8月7日から8日にかけて与那国島を通過した台風13号は、最大瞬間風速64.7mを記録し、幾多の台風にも絶えてきた十山御嶽拝殿の屋根を大破してしまいました。十山御嶽は古来より島内各地に配置されている12の御嶽の総本山として、島人の厚い信仰を集めてきた大切な御嶽です。与那国町自治公民館連絡協議会では9月中旬に十山御嶽復旧実行委員会を立ち上げ、館民及び郷友の皆様、各種団体から広く浄財を募り再建を目指すことになりました。町民皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



元気いっぱい集落内をパレードした比川の子もたち
7.27 比川豊年祭



クバ餅のプレゼントに笑顔のこどもたち。 7.29 久部良豊年祭



北側の屋根が崩壊した十山御嶽拝殿 8.10



供物は1回の祈願で各御嶽と十山御嶽のあわせて13膳を供えます。前願い、祭事のない7月をのぞく11ヶ月の願解き、後願いの合計13回の祈願を続けて行います。 8.10 相納豊年祭

与那国
植物記
No.

うど 独活の木の大本



比川の森を案内してくれた長濱正敏さん（左）とウドノキ。

「独活（うど）の大本」とは、体ばかり大きくて役に立たない人をたとえた言葉。ウドはウコギ科の多年生草本で、北海道から九州にかけての地域では、春の山菜の代表格です。新芽を天ぷらや酢味噌和えなどにして食べますが、高さ二〜三メートルに成長すると食べることができないばかりか、木材にもならず、このような言葉が生まれました。■

そのウドとは別に、ウドノキというオシロイバナ科の常緑高木が、東南アジア、ポリネシア、ミクロネシア、オーストラリアなど、世界の熱帯雨林に広く分布しています。高さ八〜二〇メートルにもなり、日本国内では小笠原諸島や琉球列島に分布します。与那国島では、湿度が高く薄暗い石灰岩地帯の谷間に、わずかながら自生しています。■

比川集落は、海に面した南側をのぞき、周囲を森林に囲まれ、水に恵まれた地域です。ドゥナンダギー帯の南斜面には幾筋もの谷が刻まれ、谷を流れる水はやがて比川集落に注ぎ、人々の生活や水田を潤してきました。■

比川公民館長の長濱正敏さんの案内で水源の森をたずねました。■

集落をはずれて森に入ると、沢浴いに水田の跡や石垣などが点々と残されており、岩かげにはたくさんの古いビール瓶や一升瓶が散らばっていました。「あんまり家で飲んだら、かあちゃんにしかられるからなく」饒舌な長濱さんは面白おかしく、昔の比川集落の暮らしぶりを語ってくれました。■

森の奥深くからは、リュウキュウアカショウビンの高く澄んだ声が響いてきます。水音を立てて逃げてゆくのはオオクチュゴイ（与那国名カシノ、カンク）。うっかり踏んづけたのは昼寝中のオオウナギ。水面に浮かぶのは一夜限りの開花を遂げたサガリバナの花。■

森の中では、さまざまな動植物との出会いがありました。比川の豊かな自然を次世代へ受け継いでいきたい。そんな思いから、長濱さんは時間があれば地域の子供たちを森に連れ出し、自然とのふれあいを楽しんでいるそうです。■

しだいに沢幅が狭まり、水量が少なくなったころ、目の前に圧倒的な存在感を放つウドノキの巨木が姿を現しました。まっすぐに伸びた滑らかな幹は、最も太い根元付近で周囲六メートル近くもあります。■

ウドノキの材は腐りやすく、建築材などの利用価値がありません。そのことが由来となつて、役立たずの「ウドノキ」と名づけられたそうです。また、太い枝ですら鎌で切れるほど柔らかく、大草木（オオクサボク）という別名もあります。■（与那国町教育委員会 ■ 村松・総）■

ウドノキ（オオクサボク）【オシロイバナ科ウドノキ属】
常緑低木で高さが八〜一〇メートル、大きいもので二〇メートルに達する。若枝には褐色の短毛があるが、後に無毛になる。葉は柔らかく肉質、対生か時に互生し、長楕円形または楕円形、無毛、長さ九〜二五センチ、幅三・五〜一〇センチ。三〜八月に枝先に長さ三〜一二センチの集散花序をつける。雌雄異株で花は無毛で緑色、鐘形で先は四〜六裂して開く。果実は花被で包まれる。■

与那国島歴史文化交流資料館(仮称) 運営スタッフ、ディディ協力隊員の募集



与那国町では、与那国島独自の歴史・文化・交流の現状を発信する機能を持つ、『与那国島歴史文化交流資料館(仮称)』の平成28年3月オープンを目指して事業を進めています。

『与那国島歴史文化交流資料館(仮称)』では、「食」「唄」「風」の体験交流を設けて、与那国島ならではの食の体験等(食)や、郷土芸能等の発信(唄)、台湾をはじめとする周辺地域との交流の歴史等の発信(風)を行う計画です。

地域の方や観光客が多く訪れ、リピーターとなっていただく施設となるためには「食」「唄」「風」の各体験・交流スペースで活発な提案・企画を行う魅力ある施設運営が必要です。

このような背景の中、各体験・交流スペースを担当する運営スタッフを募集することになりました。運営スタッフ採用後は、オープンに向けての準備などを行い、オープン後にはプログラムの企画・実施や管理・運營業務などを行うこととなります。ディディ協力隊員は、スタッフをサポートし、来館者を歓迎する活動を担います。

募集要項につきましては、別紙をご覧ください。

運営スタッフ，ディディ協力隊員 募集要項

■募集定員 運営スタッフ：若干名
ディディ協力隊員：10～15名

応募締切		平成27年10月16日（金）17時必着
応募書類	運営スタッフ	履歴書とあわせて、A4版1枚に志望動機，与那国町への想いをまとめた書類
	ディディ協力隊員	A4版1枚に、氏名，年齢，住所，電話番号，志望動機，与那国町への想いをまとめた書類
応募書類提出先 ※郵送もしくは持参して下さい。		与那国町役場総務財政課交流推進班 担当：稲蔵、小池 住所：沖縄県八重山郡与那国町字与那国129 電話：0980-87-2241
書類選考及び結果通知		平成27年10月23日（金） *携帯電話等、つながる連絡先を応募書類に明記ください。
面接及び結果通知		平成27年10月30日（金） *面接後、結果を通知いたします。
オリエンテーション		合格された方へ、オリエンテーションを行います。日時・場所については、合格者に連絡いたします。

■応募資格：学歴、年齢は問いません。

■雇用条件

(1)運営スタッフ

勤務日等：火曜日から日曜日まで週6日間の内、40時間／週

給 与：町の規定による

活動開始日：平成28年3月予定

【仕事内容】

DiDi 与那国交流館の運営・管理に係る全ての業務を担って頂きます。

(2)ディディ協力隊員

勤務日等：1週間に3時間以上のボランティア協力

活動開始日：平成28年3月予定

【活動内容】

来館した観光客への与那国島の紹介など、スタッフをサポートし、来館者を歓迎する活動を担って頂きます。**与那国の歴史、文化、芸能、食の継承に携わることができます。**

■備考

電話又は面接で審査内容等についての質問は受け付けません。

開館まで、フォローアップを行う予定です。

どうなんファンド ～与那国まちづくり支援ファンド～

平成27年度事業の概要

平成26年度は、新たに『どうなん活性化事業支援助成制度』も実施し、それぞれで成果が得られ、順調にスタートしました。

今年度は、前年度に引き続き『どうなんまちづくり活動支援助成制度』及び『どうなん活性化事業支援助成制度』も実施し、本助成の対象者には、与那国町商工会及び、沖縄県商工会連合会および沖縄振興開発金融公庫を通じた、「経営・技術支援」の支援を予定しています。

平成27年度 どうなんファンド助成金交付申請 採択結果

1. 「どうなん活性化支援助成：2件

プレゼン番号	1	2
事業の名称	与那国テキスタイル	長命草（ボタンボウフウ）焼酎の開発
申請団体名	プレタポルテ衣瑠都	合名会社 崎元酒造所
交付申請額	1,000,000円	1,000,000円
事業費総額	1,015,000円	1,586,320円
①公益性	無形文化財を基にしたデザインなど、与那国の発信をしっかりと意識したブランド化の構想を持っている。	与那国産の商品で最もメジャーな長命草を使う商品であり、与那国を島外へ発信するのにふさわしい。
②持続性	昨年度からの継続事業であり、布作りまでの事業計画は概ね妥当である。	過去2回、オリジナルブランド商品の開発に成功し、販売を継続している実績は信頼できる。
③発展性	②の点に加え、布を作るだけでなく、さらなる商品開発の構想を持っており、事業拡張に期待が持てる。	将来、与那国産米使用の長命草焼酎も構想しており、地場産業への波及が期待できる。
④妥当性	商品開発等の事業拡張には、島内の技術者との協力や資金面も含めた組織化に、尚課題が残る。	安定生産には長命草生産量とのバランスが課題となるが、当面この点にも配慮が見られる。
⑤実現性	ウェブ・SNSの利用と商標登録以外に具体的な販売戦略がなく、ブランド化に課題が残る。	県外での販売を意識して新たな販路の開拓、度数など味の調整を試みている点は評価できる。
⑥活動意欲	昨年度事業を踏まえ、デザインの素となる与那国文化をさらに捉えなおそうとする姿勢は評価できる。	薄利多売を避け、島外でのブランド化を目指すという明確な目的意識がある。
総合評価	○	◎

評価指標 ◎：助成対象とすべきである ○：助成対象とすることが望ましい
 △：助成対象とすることが考えられる ×：助成対象とすべきでない

2. 「どうなんまちづくり活動」支援助成：該当なし

平成27年度 与那国町国民健康保険税収納対策緊急プラン

与那国町では、国民健康保険税の収納率向上を図るため、次のとおり収納対策プランを策定し、実施します。

1、滞納状況の解消

- ①他保険等加入及び喪失者の発見に努め、早期の国保資格喪失や、取得手続きを勧奨する。
- ②居所不明者の実態把握及び居住確認調査を行い、資格適正化を図る。
- ③所得未申告者への所得申告勧奨の取り組みにより、賦課の適正化を図る。
- ④生活保護申請を行わない被保険者への生活保護勧奨をする。
- ⑤広報紙、ホームページを活用し、国民健康保険制度及び事業の周知、啓発を行う。
- ⑥時効完成前に納入勧奨を行うとともに、時効が完成したら迅速に不能欠損処理を行う。

2、収納方法の改善

- ①徴収強化月間の実施(12月～翌年3月)
 - ・夜間電話催告や、個別訪問による徴収対策の強化
 - ・保険証一斉更新時の徴収強化(3月)
- ②口座振替を推進し、徴収義務の効率化を図る。
- ③納税相談を行い、保険税の納付が困難な納税に対し、確約書を交わし、分割納付を勧奨する。
- ④滞納分析を行い、効率的な滞納整理を検討し、実施する。
- ⑤福祉イベント等の機会を活用し、国民健康保険制度の必要性を記載するとともに国民健康保険のパンフレット等を渡し、PRを実施する。

3、滞納処分実施の取り組み

- ①滞納者に対し、督促状等の催告文書を送付し、納税相談を行う。
- ②滞納者が転出した場合は、転出先住所へ督促の催告を行う。
- ③滞納世帯に対する短期保険証の交付を徹底する。

昨年度の与那国町国民健康保険税収納対策緊急プランにより、収納率が向上しました。

- ・個別訪問による徴収対策の強化
- ・口座振替の推進
- ・分割納付の勧奨



現年度収納率

H25年 88.3% → H26年 90.9%

お問合せ 長寿福祉課

☎87-3575

与那国町伝統織物協同組合から 後継者育成事業研修生募集のお知らせ

募集内容：織り子養成

募集対象者：織物に興味のある方、住民票のある方、
研修終了後も与那国で最低10年間は従事できる方

研修期間：初級 平成28年 6月1日～11月30日

中級 平成29年 6月1日～11月30日

募集期間：平成27年9月1日～平成27年12月末まで

お問合せ 工芸館事務局 87-2970

町役場 長寿福祉課

「9月は健康増進

普及月間です」



第3回

コラム

毎年9月は健康増進普及月間です。運動習慣や食生活を振り返り、健康寿命の延伸を目指して国全体で取り組もうという月です。統一標語は「1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後にクスリ ～健康寿命の延伸～」。

今回は、標語の一番はじめに挙がっている「運動」について紹介します。

運動の重要性とその効果

1. 生活習慣病予防及び改善

メタボリックシンドローム（内臓脂肪肥満）をはじめとする生活習慣病を予防します。すでに血圧、血糖、血中脂質の高めの方でも改善の効果があります。（治療中の方は医師にご相談ください）

2. 体力（機能）の維持・向上

筋力を維持するほかにも、骨に負荷をかけることで骨を丈夫にしたり、関節や筋肉の柔軟性を保つことにも役立ちます。また、心肺機能が強くなり、疲れにくくなります。

3. 精神的な効果（ストレス解消）

爽快感が得られ、ストレスが発散できたり、リラックス効果もあります。

運動の種類と時間

運動とは「からだを動かすこと」で、家事など日常生活での活動（生活活動）とスポーツなどの運動を合わせて身体活動と呼ばれます。

普段、からだを動かすことが少ない人が急に激しいスポーツを始めると怪我や故障につながります。生活活動を増やしたり、ウォーキングなど軽い運動から始めましょう。運動前後の柔軟体操（ストレッチ）も忘れずに。

まずは **今より10分多く運動** することを目標に！

運動のタイミング

運動のタイミングで一番良いのは、「できる時にやる」ということ。食前でも食後でも、朝でも夜でも、運動しやすい時間に行いましょう。生活リズムに取り入れることで運動が習慣化していきます。

血糖値が高めの方については、食後1時間くらいの運動がおすすめです。食後の血糖上昇が抑えられ、血糖のコントロールにつながります。

誰もが簡単に取り入れることができるウォーキング。ただ、ダラダラ歩くのでは十分な効果は得られません。正しいフォームで、テンポよく歩くことで、全身運動になります。景色を楽しみながら歩きましょう。

有酸素運動
たとえばウォーキング
10分＝約1000歩！



正しいウォーキングフォーム

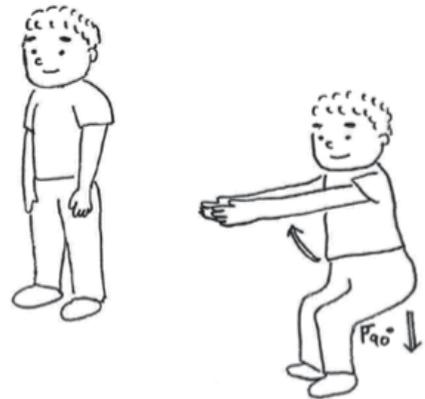


<ウォーキングの注意点>

- 日中にウォーキングをするときは、帽子をかぶって、タオルと水分を携帯して歩きましょう。無理はせず、陰で休憩を取りながら行ってください。
- イヤホンを使い、音楽を聴きながら歩く方もいますが、車など周りの音に気付きにくくなるので注意が必要です。

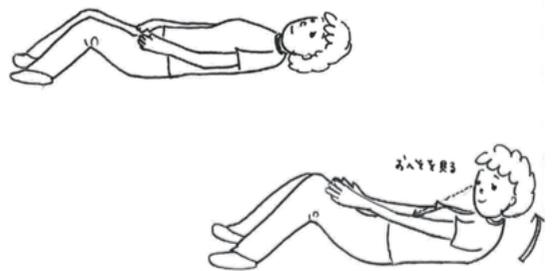
かたんスクワット

- ①両足を肩幅に開き、両手はもの前において立ちます。
 - ②両手を前に上げ、バランスをとるようにして、息を吸いながら膝が90°くらいになるまで、ゆっくりしゃがみます。この時、膝が出ないように注意し、おしりを突き出すようにします。
 - ③息を吐きながら両手を元の位置に戻しながらゆっくりと立ち上がります。
- ※バランスがとりにくい場合は椅子の背もたれなどをつかまりながら行います。
※うしろに椅子をおいておくと安心です。



おへそをのぞき込み (腹筋)

- ①あお向けになり両足を肩幅に開いて膝を立てます。
 - ②息を吐きながら、おへそをのぞき込むようにして上体を上げ、1～2秒止めます。
 - ③息を吸いながらゆっくりと元の姿勢にもどします。
- この時手は、膝にすべらすようにするか、おなかに置いて腹筋が硬くなることを確認しながら行います。
※上まで起き上がる必要はありません。肩が床から少し離れるくらいで十分効果があります。



寄附・寄贈

平成27年7月～8月末まで

次の方から与那国町立久部良中学校へ寄贈がありました。大切に活用いたします。ありがとうございました。

◎株式会社 魂 商店 代表取締役 吉田 幸治 様 クーラー 一式 (4セット)

上記の寄附がありました。ありがとうございます。

時代

くドゥナン いま・むかしく

一九七五年の島の様子

千葉県在住の白鳥正行氏が、昭和五十年頃に与那国島を訪れた際に撮影したスナップ写真の中から当時の子どもたちの様子をピックアップしました。与那国島を訪れた際に撮影したスナップ写真の中から当時の子どもたちの様子をピックアップしました。



田村商店と少年3人組 現在の永井さんの住居地にあった田村商店で、数少ないお小遣いで駄菓子でも買おうかと思っていく少年たち。撮影地：祖納



比川豊年祭で出番を待つ少年 豊年祭で棒踊りの奉納のために民家に集まり支度をする様子。当時は比川の子もたちも多かった。撮影地：比川



丸福食堂と子どもたち 海神祭当日食堂の軒先で遊ぶ少女たち。丸福食堂はソバが人気で祖納からもバスで食べに来るお客さんも多かった。撮影地：久部良



「バーなんたはま」の前でたたく少年 波多港近くの防波堤のすぐ前にあった酒場。現在は緑地帯になっている。撮影地：祖納



通りを楽しくスキップする少女 自宅前を歩いていると、撮影されていることに気づき一瞬驚き笑顔になる。当時舗装路は無く殆どが砂利道だった。撮影地：比川

写真提供：白鳥正行氏